

五輪汚職 踏みにじられた誠意

無職 清水 武

(東京都 81)

東京五輪・パラリンピックを巡り、スポンサーがらみの贈収賄疑惑が広がっています。ボランティアで大会に参加した一人として深く失望しています。

世界の選手と直接触れ合う晴海の選手村で、宿舎の備品の整備や選手の要望への対応にあたりました。

不安を抱えて来日しているかもしれない選手が、少しでも安心して実力を発揮できるよう、日本により印

象を持って帰国してもらえよう努めました。バスやオルやトイレットペーパーを渡すときでも、選手に声をかけ真心からの「おもてなし」を心がけました。

大会終了後は、微力なりとも貢献できたという充足感を抱きました。

ですが、裏で多額の金が行きとどきされ、海外でも報道されていると思うところ、残念なことはありません。誠意を込めて参加した多くの人の思いが踏みにじられたように感じます。